

1. 件 名：日本原燃株式会社第二種廃棄物埋設事業変更許可申請に係る新規制基準への適合確認に関するヒアリング（68）
2. 日 時：令和2年12月23日（水）15時00分～16時00分
3. 場 所：原子力規制庁 10階会議室（音声通話により実施）
4. 出席者：  
原子力規制庁  
原子力規制部 審査グループ 核燃料施設審査部門  
志間企画調整官、菅生主任安全審査官、大塚安全審査専門職、鈴木安全審査専門職  
原子力規制部 検査グループ 核燃料施設等監視部門  
百瀬主任監視指導官、木原主任監視指導官、吉澤監視指導官  
日本原燃株式会社  
低レベル放射性廃棄物埋設センター 副部長、他7名
5. 要 旨：
  - (1) 原子力規制庁より、新規制基準への適合に関しては、廃棄体に含まれる主要な核種に塩素 36 を追加した場合の廃棄体の管理方法等について整理し、以下について具体的に説明するよう日本原燃株式会社に求めた。
    - ・塩素 36 の放射能の分析方法並びに濃度設定におけるサンプル代表性及びデータ充足性
    - ・廃棄体固型化材料、埋設設備材料及び覆土材料の分配係数の管理方法
    - ・埋設制限を行う廃棄体の管理方法
  - (2) 日本原燃株式会社から、今回の面談を踏まえて対応する旨の発言があった。
6. 配布資料  
資料（1） Cl-36 の管理について  
資料（2） 廃棄物埋設施設における許可基準規則への適合性について（抜粋）  
資料（3） 総放射エネルギー及び最大放射能濃度について

以上